

日刊 動労千葉

86. 6. 11
No. 2263

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六・公衆）〇四七二（二二）七二〇七

よく来た。待ってたヨ

千葉県下の仲間、激励支援に感激、ガンバロ

一カ月間の準備をととのえ、オルグに出発！

協販部は、四月半ばに発足しました。商品選定からポスター作りをはじめ、諸準備に一カ月。激論と日夜の奮闘でした。

いよいよ五月十五日から待望の千葉県内オルグに入りました。夏期販売は、夏季手当の時期がたのみですから、心はいささかあせりぎみでした。

すでに県労連の井原議長をはじめとする方々のご尽力で協力要請の文書も傘下の地区労や単産においていました。

協販部と各支部の物販担当者は、十五日間をかけて主な地区労・単産・労組をたずね、あいさつと協力要請をやりとげました。数限りない収穫を得ることができました。

組合員の皆さんにお願いします。中曾根が政権を担当してからすでに三年半が経過しましたが、その間中曾根は軍事大国化を進める一方で労働者と国民にがまんの哲学を押し付けています。その身内な例が、健保の本人一割負担の導入、天満組合法の度重なる改悪であり、そして国鉄の分割民営化であると思えます。私達全千葉支部は昨年取り組まれた国鉄の分割民営化反対五千万署名については郵政事業の経営形態の変更がうかざされる事柄の中で、私達自身の問題としてとうとう五千万の署名を獲得してまいりました。この署名の集約は千葉市では国鉄関連労組を除いては全千葉支部が最高の署名獲得であり評価できると思っています。真に国民のための国鉄をやり、公的輸送手段を守り抜く私達労働者の闘いに、中曾根と国鉄当局は力によってその企図と切り崩しを行なってきました。その最たるものが国鉄千葉動力車労働組合にかつられた大量復讐不承認であり、また私達全千葉支部は県労連に結集する仲間として不当処分抗議し労働者の権利を守るため、全千葉地区本部の指導と千葉県労連の要請に答へ、国鉄千葉動力車労働組合と組合員の生活と権利を守る物品販売に積極的に協力したいと思っています。組合員皆さんの御理解と御協力をお願いします。一九八六年五月二十六日 全連信労働組合千葉支部 支部長 小林善宏



物販オルグ奮闘記
全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！
物販部 K生

闘いの正しさをあらためて実感！
今度は東京へ、全国へ、ガンバル
動労千葉の二波のストライキは千葉県内の労働者にどう受けとめられているのだろうか。私たちは、物販オルグを通して自分達のたたかいの正しさにあらためて確信を深めることができました。
動労千葉よ負けるな！ この声援

「新聞で見た、待っていたよ」
「他人ごとじゃない、ガンバッテ！」
拍手と声援でむかえられ大感激
協販部も支部担当者も、これまではハンドルや工具類しか持ったことのない人達です。商売にはむいていないという気持ちの重くのしかかっていたことは当然のことです。

しかし、驚いたことに、どこでも心暖かく迎えられたことです。もちろん玄関払いをするところや、ていのいいことわりもあります。次はどうだろうかと入ると「動労千葉に自分達の分もガンバッテもらいたい。応援します」という声援にはげまされるのでした。ある自治労では、「新聞で見て知っていた。やがて来るだろうと待っていましたよ」そして三〇〇枚のポスター、申込書を引き受けてくれました。
また、全通の支部長が「今から分会長会議を開くので各分会におろしますよ」「国鉄にかけられた攻撃は他人事ではない。動労千葉の闘いで情勢も動きだした。ガンバッテください」。さらに他の全通の支部では、団交前の意志統一をやっている部屋に案内されて、あいさつすることができました。部屋を出るときには拍手とガンバレの声援に大感激でした。高教組のある支部では、支部長と専従役員を各学校にたずねて話すことになりましたが「国鉄労組がつぶされたら次は教師。現に自分の支部つぶしの攻撃をうけたが、団結は守りぬいた」「動労と真国労の動きは内部から団結を破壊するもの」と動労「本部」への怒りを語っていました。
勤務時間内でも守衛から連絡を受けた役員が応待してくれるところが多くありました。
県内の国労も、ほとんどが取り組みに応じてくれました。
にこたえて、ひきつづき今後も東京へのりこみ、全国へと打って出ていきたいと思えます。
物販は、誰でも参加できる動労千葉を支援し連帯する運動の広がりをつくります。全国の仲間の間に、分割・民営化反対の大きな流れをつくりだすために、私はオルグにとびまわりたいと思います。
（動労千葉協販部・K生・寄稿）

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！